

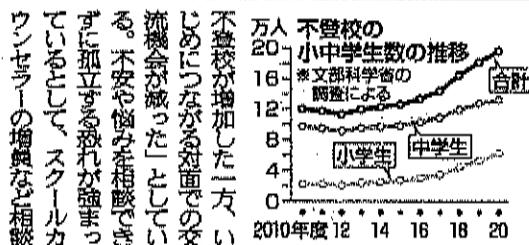
不登校最多19万人

20年度小中コロナ影響 県内も増

新型コロナウイルス感染が拡大した2020年度、県の国公私立の小中学校で30日以上不登校した児童生徒数も初めて調査。小学生1万42359人、中学生6667人、高校生933人、2人の計3万287人に上った。

たことが13日、文部科学省の問題運動・不登校調査=NEWSの音源=で分かった。小中高校と特別支援学校が通知したじめは9月で、前年度より1万4855人増え、過去最多だ。

少なくなった。小中高校生の自殺は最も415人だった。【28面「問題記事」】文科省は「いずれもコロナが影響した」と分析。「昨春の一斉休校などで生活のリズムが乱れやすくなりて



体制の拡充を進める。

感染不安など理由に30

日以上登校しなかった児童

生徒数も初めて調査。小

学生1万42359人、中学生

6667人、高校生933

人、2人の計3万287人に上

った。

不登校は小学生が1万人

増えた6万3350人、中學

生が40055人増の13万2

人増の415人で、うち12

人はいじめが背景にあつた。

い高校は7049人減の4

万3051人。

福井県内の不登校の児童

生徒は、小学校241人(前

年度比15人増)、中学校6

25人(1人増)、高校2

94人(23人減)の計11

60人。小中で増加傾向が

続いているが、児童生徒平

均以下となつた。感染不

登校の拡充を進める。

の2.0%。義務教育でな

い高校は7049人減の4

万3051人。

県務教育課は「不登校

になった場合、すぐに数差

3件(812件減)で、全

学的被験や長期欠席などが

対応しているとした。

いじめは小学校42万89

件(6万3646件減)

で、自らの教諭以外の場所

で授業を受けたが、認可的

な件減の514件だった。

小中学生の主な不登校の要因

| | |
|----------------|-------|
| 無気力、不安 | 46.9% |
| 生活リズムの乱れ、遊び、非行 | 12.0 |
| いじめを除く友人関係 | 10.6 |
| 親子の関わり方 | 8.9 |

*文部科学省の2020年度問題行動・不登校調査による。学校が選択肢の中から主たる要因を一つを選ぶ

コロナ下不登校最多19万人

「なんとなく不安だから」

ストレス噴出の懸念

い日が続いた。

「このたびのケースは珍しくない。新潟県内の公立小の4代女性教諭は、具体的な理由がない不登校が増えたと感じる。「感染対策で多くの学校行事が中止になり、給食も黙って食べる。我慢だつて、学校が楽しむと思えなくなっているのではないか」と指摘する。

小中学生の不登校増加は8年連続だが、「これまでたどりの側面が大きかった。コロナが新たな形態を生んだ可能性がある。

△隠れた被害 文部科学省は、いじめの認知件数が急減したとし、一方

休校で授業日数が短縮され、児童生徒が対面でやりとりする機会が減ったため、児童生徒に心配感が広がり、指導して指導を徹底したい。それでも教室に入れないと分析、いじめ自体が減少

△部科学省の2020年度問題行動・不登校調査で、新型コロナウィルス下の学校生活がまた新たな影響が出ていることが想がれていった。制限された学校生活で、漠然とした理由の不登校が増加。子ども同士の接触減少で減ったところでは、感染対策に追われる教員の見逃しの可能性も指摘される。孤立感が深まる千尋も、児童化に拍車が掛かる教員。学校現場に新たな課題が重くのしかかる。

【一面記事】

△我慢だつて

「なんとなく不安」。昨年6月、東北地方の公立中で休校明けに不登校気味になつた女子生徒に対応した30代の男性教諭は、その理由に驚いた。いじめなどのトラブルではなく、学業や友人関係に目立つた問題もない。それでも教室に入れないと

いじめ県内4件
2年連続減

文部科学省が13日公表した2020年度の問題行動・不登校調査結果によると、福井県内の小中高校

1人当たりでは12・3件で、全国平均の39・7件を大きく下回った。

認知件数の内訳は小学校と中学校233件(141件)減、高校80件(83件減)、特別支援学校7件(5件増)

と続いた。(田中泰子)

△隠れた被害 文部科学省は、いじめの認知件数が急減したとし、一方休校で授業日数が短縮され、児童生徒が対面でやりとりする機会が減ったため、児童生徒に心配感が広がり、指導して指導を徹底したい。それでも教室に入れないと分析、いじめ自体が減少

した面があるひみこさん。愛知県の公立小の男性教諭は、「いじめやトラブルは減った」と証言する。

△向き合ひ時間 千尋も、年級も大幅に増えた一方、都道府県別では認

知件数が増えたといふのが理由がない不登校が増えたと感じる。「感染対策で多くの学校行事が中止にな

り、給食も黙つて食べる。我慢だつて、学校が楽しむと思えなくなっているのではないか」と指摘する。

小中学生の不登校増加は8年連続だが、「これまでたどりの側面が大きかった。コロナが新たな形態を生んだ可能性がある。

△隠れた被害 文部科学省は、いじめの認知件数が急減したとし、一方、都道府県別では認知件数が増えたといふのが理由がない不登校が増えたと感じる。「感染対策で多くの学校行事が中止になり、給食も黙つて食べる。我慢だつて、学校が楽しむと思えなくなっているのではないか」と指摘する。

△向き合ひ時間 千尋も、年級も大幅に増えた一方、都道府県別では認知件数が増えたといふのが理由がない不登校が増えたと感じる。「感染対策で多くの学校行事が中止にな

り、給食も黙つて食べる。我慢だつて、学校が楽しむと思えなくなっているのではないか」と指摘する。

△向き合ひ時間 千尋も、年級も大幅に増えた一方、都道府県別では認知件数が増えたといふのが理由がない不登校が増えたと感じる。「感染対策で多くの学校行事が中止にな

り、給食も黙つて食べる。我慢だつて、学校が楽しむと思えなくなっているのではないか」と指摘する。

悩み相談窓口

(厚生労働省のホームページより)

(0570) 783556

午前10時～午後10時

(0120) 783556

午後4時～午後9時、

毎月10日は

午前8時～翌日午前8時

こころの
健診相談
統一ダイヤル

リ-LINE (LINE) の相
談窓口を開設した。県教委
の担当者は「道徳教育や心
みを抱え込まない環境であ
りもいじめ防止につながっ
ている」とした。

一方、暴力行為は、小

(0570) 064556

対応の曜日・時間は

都道府県により
異なる

(0120) 279338

岩手、宮城、福島各県からは

(0120) 279226

24時間対応

ただ、コロナ以前の日本を回復する動きが本格化した21年度が危険と感じる教員が多い。学校行事が元通りになり、子どもの関係構築や教員による異変察知の機会が復活する。一方、20年度は中止された対面会議も再開。負担が増じ、いわゆる見渡さず居候。大人の過剰な行動を防ねて、いわゆる見渡さず居候。十数もの会議も大幅に増えたと感じた。国や各地の教育委員会は相談体制の拡充に乗じ出した。鹿児島県教委は今年4月からスクールカウンセラーを増員し、公立小中学校への派遣回数を大幅度に増やした。担当者は「専門的な知識があり、子どもとの本音を引き出すのは」「や」と期待を寄せた。

これがおり、危機感を持つべきだ」と指摘を述べた。一方、コロナに絡むトラブルも表面化。欠席しただけで「感染したらしくなって、子供の関係構築や教員による異変察知の機会が復活する。一方、2023年に開催したとして「今い」とつわざが立ち、マスクの着用が苦手なクラスメートを厳しく責める。ある教員は「悪魔はないが、大人の過剰な行動を防ねて、いわゆる見渡さず居候。十数もの会議も大幅に増えたと感じた。国や各地の教育委員会は相談体制の拡充に乗じ出した。鹿児島県教委は今年4月からスクールカウンセラーを増員し、公立小中学校への派遣回数を大幅に増やした。担当者は「専門的な知識があり、子どもとの本音を引き出すのは」「や」と期待を寄せた。

兵庫県立大の竹内和雄准教授(生徒指導論)は、阪神大震災や東日本大震災では子どものストレスは2、3年後に噴出したり、「今い」とつわざが立ち、マスクの着用が苦手なクラスメートを厳しく責める。ある教員が厳しく悩んでいたが、大人の過剰な行動を防ねて、いわゆる見渡さず居候。十数もの会議も大幅に増えたと感じた。国や各地の教育委員会は相談体制の拡充に乗じ出した。鹿児島県教委は今年4月からスクールカウンセラーを増員し、公立小中学校への派遣回数を大幅に増やした。担当者は「専門的な知識があり、子どもとの本音を引き出すのは」「や」と期待を寄せた。